

# 防災情報セミナー 【アンケート集約結果】

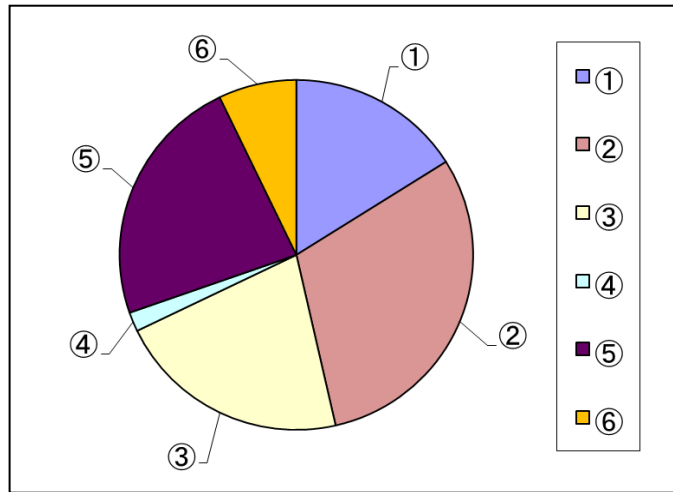
- 日時 平成28年2月25日(木) 14時30分 ~ 17時30分
- 会場 ホテルメルパルク広島 6階「平成」
- 主催 総務省中国総合通信局、中国情報通信懇談会
- 後援 中国地方非常通信協議会
- 参加者数/アンケート回収数 110名/53名 (回収率48.2%)

## 1 開催を何でお知りになりましたか。(複数回答可)

どこから

- ①中国情報通信懇談会
- ②中国総合通信局
- ③中国地方非常通信協議会
- ④新聞等
- ⑤上司・同僚・知人等
- ⑥その他

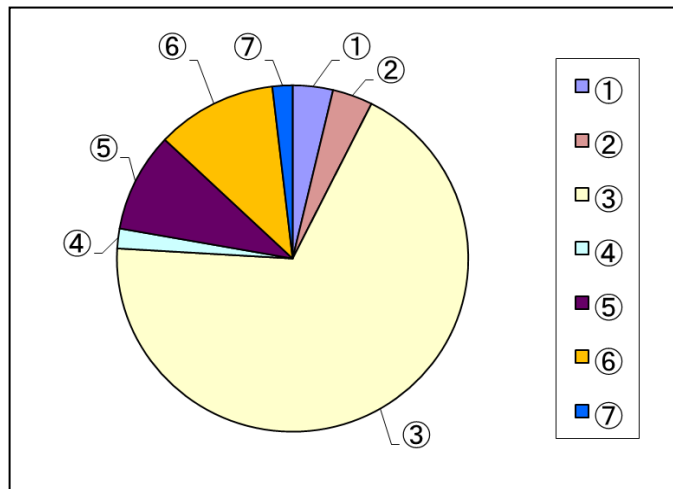
番号	回答数
①	9
②	17
③	12
④	1
⑤	13
⑥	4
計	56



## どのような方法で

- ① HP
- ②メールマガジン
- ③メール
- ④記事等
- ⑤FAX
- ⑥直接聞いて
- ⑦その他

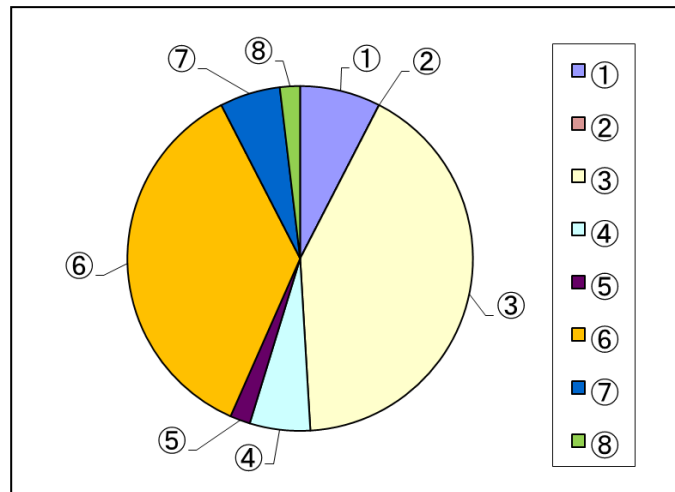
番号	回答数
①	2
②	2
③	37
④	1
⑤	5
⑥	6
⑦	1
計	54



2 貴方が所属する企業・団体等の主な分類を一つだけ○で囲んでください。

- ①製造・販売    ②エネルギー    ③情報通信    ④放送    ⑤サービス    ⑥公務  
 ⑦その他の事業    ⑧個人

番号	回答数
①	4
②	0
③	22
④	3
⑤	1
⑥	19
⑦	3
⑧	1
計	53



3 本セミナー各話題についてご意見・ご感想をお願いします。

- (1) 講演1 演題 総務省の防災分野でのICT利活用の取組  
 講師 総務省 情報流通行政局 地域通信振興課 統括補佐 山中 直弘 氏

大変参考になった	10	興味がわく話だった	13
参考になった	36	興味がわかない話だった	0
あまり参考にならなかった	3	おもしろかった	1
全く参考にならなかった	0	つまらなかった	0

1. 全体的な話が多く、時間が少なかったせいか、少し内容が難しかったです。基礎知識があまりなかったため、もう少し細かい説明があるとうれしかったです。
2. 全体的にわかりにくい。いきなり、政策的な専門内容の話になり、なぜ必要なのか、これらの検討事項が完了すれば具体的に何がどう利便性が良くなるのか、わからなかった。
3. 消防指令システムの災害情報をLアラートに連携できれば、より生の情報が伝わり、現場の入力作業も一元化できて省力化になり良いと感じた。
4. 多種多量の情報化の中、災害等の有事において、必要かつ適確な情報を収集するのに、一般住民は苦慮していると思う。
5. 今回の演題にあるLアラートは重要なツールと考える。そのためにも国・市町村・インフラ分野（電力・ガス・通信）が連携・協調し、普及することを期待します。
6. ダウンロードする事なく、一般住民がユビキタスに使用できるブラウザ型ビューアを進めてほしい。
7. 盛りだくさんで難しかった。
8. ローマ字、カタカナ表記の言葉や説明記載が多く、私にはわかりにくかったところが正直な気持ちです。近未来の構想について、私の不勉強ですが。
9. 当社はLアラートと連携システムを運用しており、Lアラート以外のWi-Fi、G空間社会、IoTと防災についてのお話が大変参考になりました。
10. 実際に使用されているシステム、技術等を知ることができて良かった。
11. 災害情報等の伝達におけるICT利活用の国としての位置づけ、方向性の概要がよくわかった。各情報はそれぞれ伝わるものの、包括的な説明が無くわかりにくかったため、今回大変参考になった。

12. スクリーンと資料が合っていないくて、わかりづらい。  
 13. Lアラートの多言語化及び多言語翻訳のスケジュール等、計画面で詳しくお聞きしたかったです。

(2) 講演2 演題 防災システム高度化のための標準仕様の動向

講師 一般財団法人全国地域情報化推進協会 企画部担当部長 武藤 俊一 氏

大変参考になった	13	興味がわく話だった	10
参考になった	31	興味がわかない話だった	1
あまり参考にならなかった	2	おもしろかった	4
全く参考にならなかった	0	つまらなかった	0

1. 実際に災害が起こった際に使えるようなシステム構築が出来れば理想的ですが、課題はまだ多そうだという印象を強く受けました。「普段から使っていないものは使えない」という言葉は本当にそのとおりだなと共感できました。
2. 自治体の防災システム高度化へ向けた動きがある程度わかりました。
3. 標準化により全国で統一的なデータ運用ができれば非常に便利だと感じた。
4. 標準化の必要性は同感した。Lアラートの連携で有効機能を期待する。
5. 標準化の動向が良くわかった。
6. 宮崎県の防災クラウド情報システムは非常に興味のわく話だった。
7. 県と市町村の連携の観点から他の県でも同様な取組が進むと良いと感じた。
8. 標準化の動向だけでなく、目指すべきビジョンをはっきりと知ることができて良かった。
9. 自治体向けシステムのデータ連携の内容なので、民間には直接関係無いが、自治体内の取り組みは良くわかった。
10. 各市町村毎の取組ではなく、県のリーダーシップが必要であると感じた。
11. 予算もシステム連携も国主導で強制的に導入を推進すべきと考える。
12. 行政のサービス共通化が実現出来れば、非常に私たちの暮らしに有益であると思料します。
13. OK

(3) 講演3 演題 北九州市のG空間防災システム

講師 北九州市 総務企画局 情報政策課 主査 塩田 淳 氏

大変参考になった	25	興味がわく話だった	16
参考になった	15	興味がわかない話だった	0
あまり参考にならなかった	2	おもしろかった	13
全く参考にならなかった	0	つまらなかった	0

1. 色々なことに積極的に取り組んでいるなと感じました。
2. なかなかおもしろいです。
3. アクセスして見ます。
4. 平常時と災害時で、同じフォーマットで情報を引き出せるのは非常時に大変役立つ事だと思った。
5. この取組について、業務の参考になった。
6. 全国で同様なことが実現できるとすばらしいと思った。がんばってください。
7. 地理情報を有効に活用しておられる実例がよくわかりました。
8. すばらしい。
9. システムを利用して地域の活性化、また業務の効率化を図れているすばらしい一例でした。
10. G空間の具体的活用方法がよくわかった。「みんなで創る」ことがやればできるという素晴らしい例であろう。「ふだん使い」のデータ作成⇒利用の参考にしたい。
11. ケタ違いの発想力、実行力に感激さえ覚えました。

12. 福島正伸先生（コンサルタント）と同じ空気感を感じました。
13. まず、よく「G-mot ty」の情報を収集した上で、連絡させていただければと思います。ありがとうございました。
14. GOOD
15. 横断的な業務効率化、住民生活の質向上に向けたGIS活用について知ることができた。今後の可能性を模索する上で、とても参考になりました。

4 これからの電波利用について、関心のあることや期待することをお書きください。

1. 専門性のある知識をもっと広めてほしい。
2. 統一的なデータ管理は、活用できれば大変効率的で良いものだと思う。実際の災害時にどれだけ使えるか（通信量の増加、データ、電源のバックアップ等）が気になる。
3. 特になし。
4. 公衆無線LAN、社内無線LAN等
5. マスコミなど情報伝達者経由は重要であるが、非常時・有事には公からの情報を直接伝達できるような仕組みは構築できないであろうか？

5 今後、取り上げて欲しいテーマや講演者等について、ご自由にお書きください。

1. 防災においては電源設備が重要である。機械の設置場所やバッテリーによる供給時間について各業種を含めた説明及び紹介等。
2. 地域の防災の取組、共助。
3. 防災行政無線の新方式に係る動向について
4. ②～③の部分の仕組みと具体例及び運用上の問題点を知りたい！  

```
graph LR; A[国] <-->|①| B[自治体]; B <-->|②| C[情報伝達者]; C <-->|③| D[住民];
```
5. テレビのポータル化の将来
6. 災害・犯罪防止へのメディアを連携した取組